

宮古盛岡横断道路(宮古箱石道路) 藤原小学校児童による現場見学会

概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路」は宮古市藤原から箱石間約33kmにおいて、整備する区間です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

この度、防災学習の一環として、藤原小学校5年生9名の皆さんによる現場見学会が開催され、災害時に命を救う「命の道」について学習していただきました。また、この道路が整備されることにより宮古市にどのような「未来」をもたらすのか、整備効果についても学習していただきました。

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路 藤原小学校児童による現場見学会 開催状況

開催日時：平成27年9月17日(木) 9:35～

開催場所：宮古市小山田地内

見学場所：閉伊川橋下部工(宮古田老道路)、小山田トンネル及びJR磯鶏函渠(宮古箱石道路)



▲三陸国道担当者から工事の概要、整備効果の説明



▲(閉伊川橋下部工)閉伊川右岸高台より見学



▲(小山田トンネル)ドリルジャンボの動きに驚嘆



▲(小山田トンネル)防水シートに記念のメッセージ



▲(JR磯鶏函渠)重いコンクリートが簡単に動くことを学習



▲(JR磯鶏函渠)函渠で記念撮影